

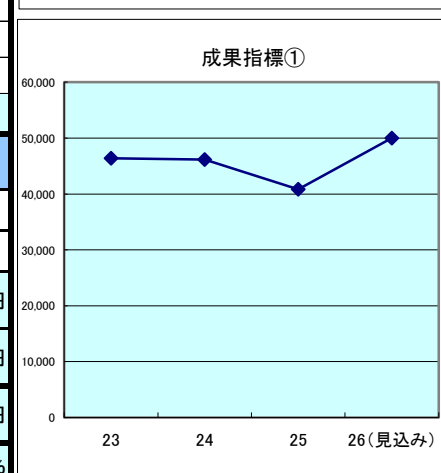
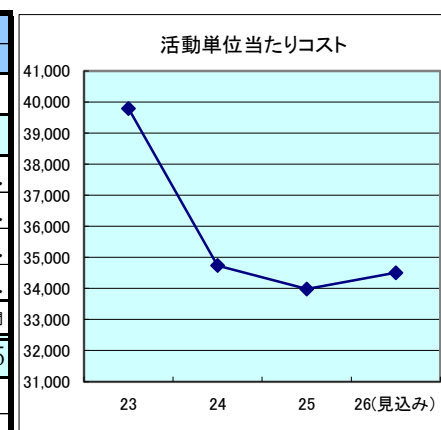
平成 26 年度 事務事業評価シート (平成 25 年度実施事業)

整理番号

保高08

事務事業名			高年いきがいサロン管理運営事業		予算科目	会計	1	一般会計	
						款	3	民生費	
						項	1	社会福祉費	
						目	5	老人福祉施設費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		事業	12	高年生きがいサロン施設管理運営		
	施策(節)	3	高齢者福祉						
	施策の方向	(3)	高齢者の生きがいづくりの促進		作成部署	高年介護課地域包括支援室			
関連する計画等			羽曳野市高年者いきいき計画		(連絡先)	072 - 958 - 1111		内線 1999	
事業の概要(目的・内容)			目的：市内に居住するおおむね65歳以上の高齢者に高齢者の心身の健康増進を図るとともに、世代間交流や生きがい活動を通して、地域社会における高齢者福祉の増進を図る。 内容：市内4施設の管理運営業務を実施する指定管理者に対し、年度協定に定める指定管理料を支払う。 業務の内容としては、介護予防事業（運動器の機能向上・認知症予防等）、生きがいサロンの一般利用・団体利用（高齢者交流・レクリエーションの場の提供）、筋力トレーニング事業等を実施している。						
根拠法令等			羽曳野市立高年生きがいサロン条例、羽曳野市立高年生きがいサロン条例施行規則						
事業期間			☒ 10年以上 ☐ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満（平成 年度開始）						
事業開始時から の状況変化			平成18年より社会福祉協議会が指定管理者として、施設利用に関する業務及び維持管理を行っている。計5館だったものが、平成24年度より1館廃止され、4館となった。						
実施手法			☐ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先			☒ 市外郭団体委託 名称(羽曳野市社会福祉協議会)		委託内容		施設管理や事業の実施等		
			☐ 民間委託 ☐ その他						

区 分		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		43,481	39,016	38,422	40,019
人件費【2】 (千円)		1,440	621	621	556
職員数	正規職員	0.20 人	0.09 人	0.09 人	0.08 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
超過勤務(参考) (時間)		0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費【(1)+(2)】 【A】 (千円)		44,921	39,637	39,043	40,575
財源内訳	国庫支出金 (千円)	4,763	4,763	4,609	4,741
	府支出金 (千円)	2,381	2,381	2,305	2,370
	市債 (千円)	0	0	0	0
	その他(使用料・手数料等) (千円)	9,526	9,526	9,220	9,483
	一般財源 【B】 (千円)	28,251	22,967	22,909	23,981
活動指標【C】 単位		23年度	24年度	25年度	26年度 (見込み)
① 開所延べ日数 日		1,129	1,141	1,149	1,176
②					
活動単位当たりコスト 〔A〕÷〔C〕①		39,788 円	34,739 円	33,980 円	34,503 円
活動単位当たり一般財源額 〔B〕÷〔C〕①		25,023 円	20,129 円	19,938 円	20,392 円
市民1人当たりコスト 〔A〕÷人口		381 円	339 円	335 円	351 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			▲ 18.7 %	▲ 0.3 %	4.7 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ)		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減 ☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減 ☐ 5. その他()			
※該当項目すべてに✓					



成果指標 (事業の達成度を測る指標)	指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	①	利用者数	人	目標 56,000	50,000	50,000	達成率(%) 50,000
	(式又は説明) 前年との比較をする			実績 46,398	46,166	40,847	81.7%
	②			目標			達成率(%)
	(式又は説明)			実績			

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
		○		○				○		

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	高齢者の交流、親睦及びレクリエーションの場としての市民ニーズが高い。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	平成18年度より指定管理制度を導入し、羽曳野市社会福祉協議会を指定管理者として委託しており、一定の効率化が達成できている。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	各館で実施している事業には、市民ボランティアが参加し、協力を得ている。
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	地域における介護予防拠点や集いの場としての位置づけから、高い目標値としている。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☐	☒	☐	各館により多様な催しを実施しているが、内容がマンネリ化していることにより、減少していると思われる。

担当部局評価	総合評価	
	☒継続 ☐改善 ☐縮小 ☐廃止・休止 (概ね現行どおり継続して実施) (実施方法の改善を検討する) (事業規模の縮小を検討する) (廃止・休止を検討する)	
	今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)	
	引き続き効果的な介護予防事業の実施について検討を行うとともに、さらに多くの高齢者が利用できるような施設運営や有効活用を検討する。	
行革本部評価	総合評価	評価理由・意見
	☐継続☐改善 ☐縮小☐廃止・休止	